

学研労協 NEWS ニュース



1月23日 学研労協 新春旗開きを行いました！！

学研労協の新春旗開きが1月23日（水）夕方、産業技術総合研究所（産総研）の食堂で行われました。

旗開きには学研労協に加盟している各単組をはじめ、共闘する団体などからの来賓者など31名（来賓者8名）の方々の出席をいただき、新年のスタートを切ることができました。

川中事務局長（産総研労組）による司会進行のもと、福山副議長による開会宣言に続き、主催者代表として芝池議長から「IoT、ロボット、人工知能、ビッグデータ等の先進技術を活用することで、新たな価値を創出する新たな時代 Society 5.0を迎える中、依然として賃金格差や長時間労働など職場の内外で様々な課題が山積しておりますが、こういう苦しい時こそ組合の果たす役割は大きいので、共に闘っていきましょう」と挨拶がありました。

さらに来賓の茨城国公・野尻書記長からのお祝いの言葉の後で、茨城における労働・宿舍問題などにつきましても報告して頂きました。

乾杯後の来賓挨拶では、共産党山中県議員、水戸翔合同法律事務所の学研労協顧問弁護士の先生からのお祝いや激励のお言葉を頂戴しました。その後、各単組から新年の抱負や活動報告などが行われ、最後に芝池議長の音頭による「今年1年、職場・労働環境の改善と住みよい街づくりを目指して、団結ガンバロー！」で締めくくられました。

短時間の分刻みスケジュールであったため若干の慌ただしさ感はありましたが、普段なかなか交流する機会のない組合員の皆さんや団体の方が親睦を深めることができた有意義な旗開きであったと思います。

【旗開き】労働組合で一年間の闘争を始めるにあたって年始に開く懇親会。たたんであった労働組合の旗を、あらためて年始に開き飾って新年の決意を表明することから旗開きとされています。

（文責：国際農研分会 金森）

2月14日（金）2020年春闘学習会

毎年、民間の春期生活闘争（春闘）における賃上げや、経済の成り行きを踏まえた官民比較の結果が勧告となり、国の機関で働くわれわれの給与や処遇に反映されます。学研労協では2020年の春闘を前に、公務員や独立行政法人をとりまく情勢について理解を深め、各労働組合の掲げる要求や課題を共有するために、国公労連から講師を招いた春闘学習会を開催することにいたしました。みなさまの積極的な参加をお待ちしています。

日時 2020年2月14日（金）18：00～21：00

会場 国立環境研究所 地球温暖化研究棟1階 交流会議室